

9・1を忘れない！ ～平和と共生を考える札幌集会 2026～



日時 2026年9月1日(火) 14:00～16:30(13:30開場)

場所 札幌教区カトリックセンター 1F 会議室

中央区北1東6-10 ＊地下鉄東西線「バスセンター前」下車10番出口から徒歩5分

参加無料・申し込み不要

プログラム

14:00 開会あいさつ 新海雅典神父(カトリック札幌教区エキュメニカル委員会、いのち・平和・人権委員会 委員長)

14:05 主旨説明 小野有五(カトリック札幌教区エキュメニカル委員会 信徒委員)

14:20～15:40 講演 鈴木 一さん 日本キリスト教団札幌手稲教会 教会員

いま私たちの隣人は？

～外国人労働者の現状と、私たちにできること～

いま、北海道では多くの外国人がさまざまな分野で働いています。しかし、人権を無視した不当な扱い、ヘイト・スピーチ、江別でのモスク放火事件など、103年前に起きたことが、いつ起きてもおかしくないような社会状況にあるのではないのでしょうか。

キリスト者として、いま何ができるか、ともに考えましょう！！

15:40～15:55 コメント 西千津さん(カトリック札幌教区職員)

16:00～16:30 参加者による分かち合い

開催の主旨―― 1923年9月、関東大震災で、多くの韓国・朝鮮人、中国人が、根拠のないデマや流言によって、日本人によって虐殺されました。虐殺は、言葉がうまく話せない日本人の障がい者にも及び、また、大杉栄、伊藤野枝も混乱に乗じて憲兵隊によって拉致され、拷問を受けて殺されました。その甥であった6歳の橋宗一くんも殺されました。

9・1を忘れない！ というのは、大地震の教訓から防災を考えるだけでなく、ごく普通の日本人が引き起こした、このような虐殺事件を記憶し続けるということです。犠牲者を悼むだけでなく、二度とこのような悲劇を起こさないためには、どうすべきか、いま、何をすべきかを、ともに考え、平和と共生をもとめる心を、宗派、教派を超えて分かち合いたいと願っています。



鈴木一(すずきはじめ)さん：1954年、札幌生まれ。高校生の時からベトナム反戦や水俣病患者支援の市民運動にかかわり、高卒後は長距離トラックの運転手などに就く。結婚を機に郷里の札幌へ戻り、バス会社で労働組合の結成にかかわり、1990年から札幌地域労組のスタッフに就く。これまで不当解雇や未払い賃金などの労働相談を端緒に約150の組合を立ち上げた。2019年に初めて外国人技能実習生の不当解雇の相談を受けたことを皮切りに、外国人労働者の相談にも対応している。

主催 カトリック札幌教区エキュメニカル委員会 + いのち・平和・人権委員会

共催 札幌キリスト教連合会、在日韓国・朝鮮人との共生をめざす委員会(問合せ：日本キリスト教団新発寒教会)

協賛 外国人住民基本法の制定を求める北海道キリスト教連絡協議会(北海道外キ連)

011-681-8217



加藤直樹 著『九月、東京の路上で』表紙より
＊当時の子どもが描いた絵